



私が障害福祉サービス事業所で働くようになった訳

障害福祉サービス事業所で働く前

大学では心理福祉学科で福祉を先行し、学んでいました。私は、就職活動を行うにあたって、コミュニケーションが多く取れる職場、子どもと触れ合うことができ、大学での学びを生かせる仕事に就きたいとずっと思っていました。そんな時、ホームページで見たのが健翔会の求人でした。私は、法人目標として掲げられていた「障害者が地域とともに生きる社会を目指しています」という文章に共感し、にじいろへの現場見学を行った際の子供たちの笑顔と可愛らしさが忘れられず、働きたいと思いました。



働き始めると

にじいろプラスに配属され、働き始めるとまずは利用児童たちに自分のことを知ってもらおう事から行いました。児童たちは、「名前はなんていうの?」と興味を持ってニコニコした笑顔で話しかけて来てくれました。利用児童の中に入り、一緒に活動をしていく中で、「清水さん」と児童に呼ばれた時のうれしさは今でも鮮明に覚えています。私は、児童たちの笑顔にエネルギーをたくさんもらいました。働き始めて痛感したのは、臨機応変な対応です。その場の状況判断をしっかり行い、適格に素早く行っていく必要があるからです。また、伝え方の難しさも痛感しました。そこで、活動の様子を観察したり、先輩方の対応を見て学んでいます。





これからの私

私は、児童たちが毎日笑顔で過ごせるように寄り添いながら、一緒にいろんな経験をして児童たちの新たな一面をもっと知っていきたいです。

そして、一人ひとりのストレングスを見つけ、かかわりの中で自信に繋げていけるような支援方法を見つけていきたいです。

私も、児童たちが経験していることを一緒になって経験し、児童たちの力になりたいです。

そして、私が健翔会に入職した動機の一つでもある「障害者が地域とともに生きる社会を目指して」を心にとめながら、努力していきたいです。



所属部署 上司からのひとこと

社会人となって初めて働く場として、清水さんにとっては初めて経験することばかりだと思いますが、他の職員や時には子ども達に助けてもらいながら、いろいろな業務を覚えていってください。

にじいろプラスの子ども達は、元気いっぱい体を動かすことが大好きです。子ども達が健やかに成長できるように、様々な運動や遊びを通して体や心が成長できるように一緒になって楽しく過ごしてください。そして子ども達は、やりたいことや「夢」を持っています。職員・一人の大人として見るだけではなく、その子ども達のやりたいことや「夢」を聞いたり感じ取ったりしながら、その手助けをしてあげてください。未来ある子ども達のために、できることは叶え、にじいろプラスに通った経験が将来楽しい思い出として残るよう一緒に活動や遊び・学びを考えていきましょう。

児童発達支援管理責任者 今村篤史



名前清水萌楓（しみず ほのか） 平成13年生まれ

令和6年4月 社会福祉法人健翔会へ入職

入職後、健翔会の運営する放課後等デイサービス にじいろプラスに配属される

健翔会 にじいろプラス 所在地：行田市忍 1-11-1 電話：048-598-5252